

## 令和7年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(国語) 准教授 宮田 航平

取組状況	
教育	<p>1. 小テストとスピーチ・口頭発表の実施 「国語Ⅰ」(第1学年)において、定期的に小テストを実施することで、第1学年の学生が物事を理解・表現するのに必要な語句の定着を図った。またスピーチや口頭発表の機会を定期的に設けることで、話し言葉の特徴や役割を実践的に理解し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」にかかわる言語表現力を、実践的に養成した。</p> <p>2. AL教材の開発と授業実践 「国語Ⅰ」(第1学年)、「日本語表現法Ⅰ」(第4学年)において、シラバスに記載した到達目標を達成するために、主体的・対話的で深い学びを促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの学習活動を軸に授業を構成した。また国語に苦手意識を持つ学生も段階的な理解が得られるよう、発問や助言にも工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。</p>
研究	<p>1. 「子どもの文学 2024年をふり返る 物語から見えてくるもの」(『日本児童文学』2025年5月)※共著</p> <p>2. 「国語教育は「白いぼうし」をどう語ってきたか—教材化とその変遷をめぐって—」(全国大学国語教育学会第149回早稲田大会、早稲田大学、2025年11月22日)</p> <p>3. 「「がっぴょう研」という学び」(『Zb通信(日本児童文学者協会会報)』2025年12月)</p> <p>4. 「濱野京子作品考—「わかり合えないこと」の先に何を語るか」(『日本児童文学』2026年3月)</p> <p>5. 『あまんきみこ授業づくりハンドブック』(三省堂、2026年3月)</p> <p>6. 『新言語文化 改訂版』(三省堂、2026年3月)</p> <p>7. 『新言語文化 改訂版 指導書』(三省堂、2026年3月)</p> <p>8. 日本学術振興会科学研究費助成事業「国語科教育における「近代童話／童謡」の再評価と新教材の発掘をめぐる調査研究」(基盤研究(C)、2022～2026年)研究分担者</p>
社会貢献	<p>1. OPC小中学生対象講座「中学生のための小論文講座」(企画・講師、全2回、2025年8月)</p> <p>2. 日本児童文学学会(評議員)</p> <p>3. あまんきみこ研究会(会務委員)</p> <p>4. 国語教育史学会(運営委員)</p> <p>5. 日本文学協会国語教育部会(部会代表補佐)</p> <p>6. 三省堂高等学校国語教科書編集委員会(編集委員)</p> <p>7. 日本児童文学者協会(研究部員)</p> <p>8. 大阪府立中央図書館国際児童文学館(特別研究者)</p> <p>9. 白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所(客員研究員)</p>